

水落露石 水落露石 俳人。明治五年二月十一日大阪生れ。大正八年四月十日歿（八七—一九九）。本名義一（義三）、通稱庄兵衛。別號ろく支、波古、波古堂、石、石出、聽蛙亭、露石生。大阪商業學校卒。（正岡子規の師事。明治）二十九年中川四明、寒川鼠骨と京阪満月會と鐵寸。（二十二年青木月斗創刊主宰誌『重百合』同人。子規歿後河東碧梧桐と親交、『海紅』同人となる。

編輯著書 『蕪村遺稿』（編、明治二十二年十一月十八日大阪・鹿田松雲堂）、『せみじぐれ—春艸集—』（合著・武定鈔七編、明治二十五年八月）二十五日大阪・金澤文淵堂書店）、『下萌集』（大正四年初春露石題・下萌會）、『蛙鼓』（聽蛙亭名、大正八年文京・跋、無刊記）、遺文『聽蛙亭雜筆』（大正十年十一月二十日水落京）（編刊）等。